

都市再生整備計画(第2回変更)

後閑町組周辺地区

群馬県 みなかみ町

平成28年8月16日

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	群馬県	市町村名	みなかみ町	地区名	後閑町組周辺地区	面積	114 ha
計画期間	平成 25 年度 ~ 平成 27 年度	交付期間	平成 25 年度 ~ 平成 27 年度				

目標

【地域が連携しあい、誰もが安全と安心を実感できるまちづくり】

- 目標1: 利根川兩岸を連結し、地域の面的な利便性向上と避難施設、公益施設へのアクセス性改善を図る。
- 目標2: 災害避難拠点を改修整備し、安全と安心が実感できる地域環境を創出する。
- 目標3: コミュニティ核施設を整備し、活力と魅力ある地域活動を促進する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・本地区は平成17年10月に合併した「旧月夜野町」の中心であり、現在のみなかみ町における「地域拠点」の位置づけにあります。
- ・平成19年度に策定された「第1次みなかみ町総合計画」において「みなかみ町の顔となる市街地整備の推進」がうたわれ、以来「JR後閑駅」を中心とした基盤整備が進められています。
- ・平成20年度から平成24年度まで「後閑駅周辺地区」では、都市再生整備計画にもとづく、ハードとソフトが連携し合ったまちづくりが進められています。
- ・平成19年度から始まった地域主導のまちづくり活動では、駅周土地利用への提言が行われ、スーパー跡地の駐車場整備が推進されました。また、昨年の東北大震災を教訓として、地域リーダーを中心とした、普段からの地域防災に関する話し合いも進められています。

課題

- ・平成20年度から始まった第1期の都市再生整備計画では、当初「(都)真政悪戸線」による、利根川兩岸の連結を図る予定でしたが、事業進捗が果たせず、橋梁は未整備となりました。このため利根川兩岸の連絡性は、上流に位置する既存の「月夜野橋」のみで、右岸側からの「JR後閑駅」「みなかみ町役場」等へのアクセス性、また逆に左岸側からの「月夜野中学校」「総合体育館」へのアクセス性が改善されていません。
- ・「真政悪戸線」の橋梁部「仮称-徒渉(ただわたり)橋」を整備し、利根川左岸(駅周辺市街地)から、避難施設である「総合体育館」への最短距離の避難ルート確保を急ぐ必要があります。くわえて当該施設は、現在の耐震基準を満たしておらず、早期の改修が必要です。
- ・地区南端の「衛生センター」は、平成10年度の稼働停止以降、老朽化した施設が放置されており、安全で健康的な地域生活の阻害要因となっています。
- ・地区内に地域活動に利用される公民館は点在していますが、施設規模が小規模で老朽化しています。よって、「みなかみ町地域拠点」にふさわしい、求心的なコミュニティ形成核を整備し、多世代にわたる豊かな交流とみなかみ町らしい文化をはぐくむ活動の維持が必要であります。

将来ビジョン(中長期)

- ・『第1次みなかみ町総合計画(平成19年度)』では「JR後閑駅」の周辺である「旧月夜野町中心部」は「みなかみ町の顔」として拠点機能の充実を目指した市街地整備を推進することが示されています。
- ・『みなかみ都市計画マスタープラン(平成21年度)』では、現用途地域(旧月夜野町エリア)は、都市的土地利用を図る区域として、コンパクトな市街地の形成が示されており「みなかみ町役場」と「JR後閑駅」周辺を「地域拠点」として位置づけております。
- ・『みなかみ町地域防災計画(平成19年度)』では、避難場所を結ぶ幹線道路のネットワーク化と公共建築物や防災上重要な建築物の耐震化を進める事の重要性が示されてます。

目標を定量化する指標

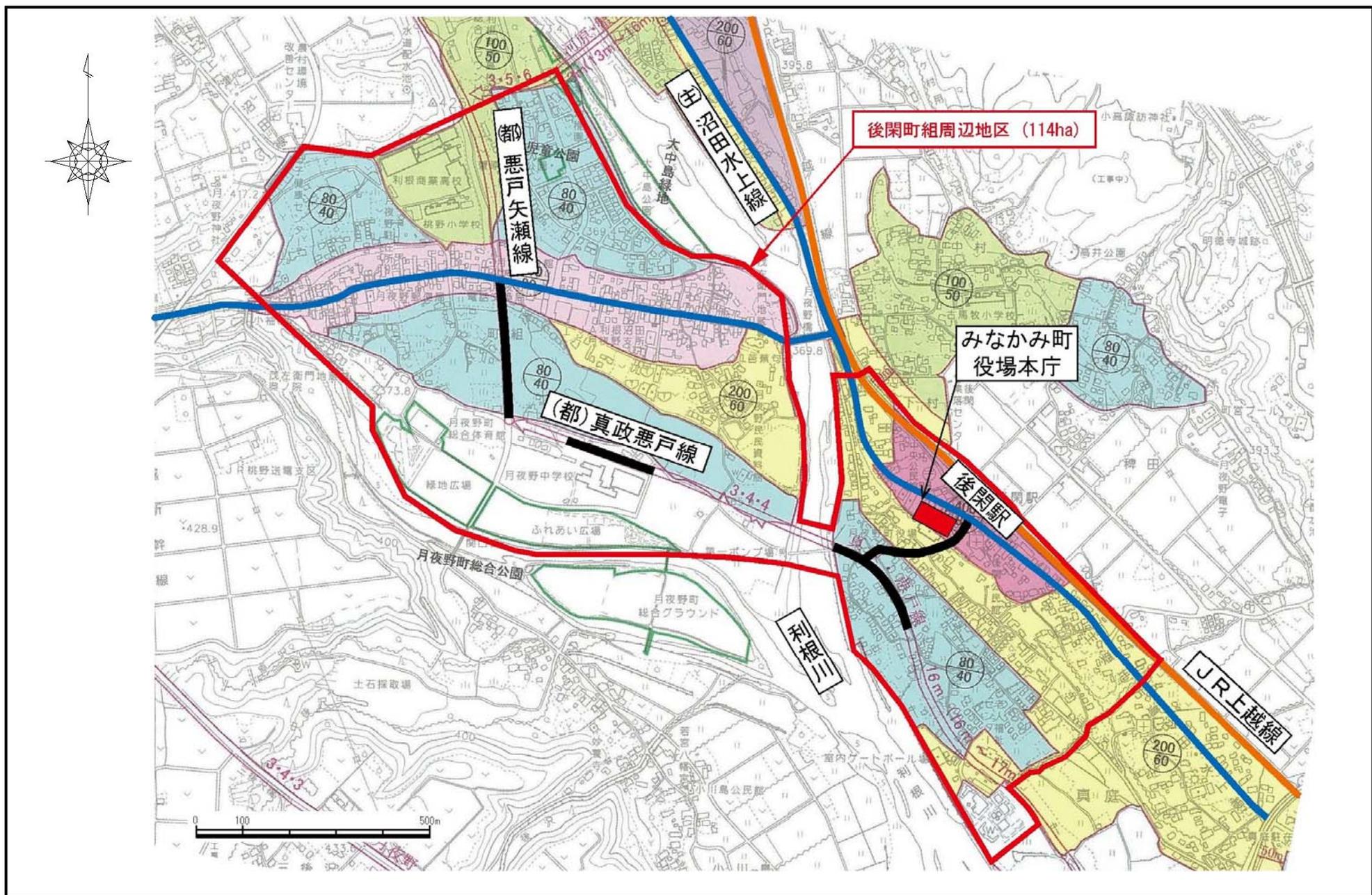
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
避難施設へのアクセス時間短縮	分	「JR後閑駅」前からの「総合体育館」への徒歩による避難時間を短縮する	「目標1」 利根川兩岸の連絡と地域の面的整備を図り、避難施設、公益施設へのアクセス性を改善する	31	H24	25	H29
防災環境の評価	%	地域住民へのアンケートで、地域防災に関する整備状況を「評価する」と回答する割合	「目標2」 避難場所等の改修整備により、日常生活での災害に対する安心感と満足度を向上させる	37	H24	55	H29
地域防災への参加意欲向上	%	地域住民へのアンケートで、地域の防災活動(訓練)に「参加したい」と回答する割合	「目標3」 コミュニティ核施設等で開催される啓発活動をとおり、自主避難に関する地域活動を促進させる	41	H24	65	H29

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ●利根川両岸を連結し、地域の面的な利便性向上と避難施設、公益施設へのアクセス性改善を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・「(都)真政悪戸線W-16」は、利根川両岸を強固に連結する根幹的な幹線道路として位置づけ、早期の整備を図る。 ・「仮称-徒渉(ただわたり)橋」の整備を図り、避難施設である「総合体育館」に対し「JR後閑駅周辺地域」からの最短避難ルートを確認する。 ・「みなかみ町役場」や「JR後閑駅」、及び各文教厚生施設へのアクセス性を改善し、地域の総合的な利便性と住みやすさを改善する。 	<p>基幹事業：道路(真政悪戸線整備事業町組工区)</p> <p>関連事業：真政悪戸線整備事業橋梁上部工及び後閑工区 悪戸矢瀬線整備事業 中学校グラウンド線改良事業</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●災害避難拠点を改修整備し、安全と安心が実感できる地域環境を創出する。 <ul style="list-style-type: none"> ・防災避難の拠点施設である「総合体育館」の耐震化を図り、広域住民の防災に対する安心感と満足度を向上させる。 ・地域の健康的な生活の懸案事項である、老朽化した「衛生センター」を除去し、不安要素を解消する。 ・「衛生センター」の跡地は「被災時避難広場」を整備し、防災上の日常的な安心感を向上させる。 	<p>基幹事業：地域生活基盤施設(地域防災施設:総合体育館耐震補強事業)</p> <p>提案事業：地域創造支援事業(総合体育館改修事業)</p> <p>関連事業：被災時避難広場造成事業 衛生センター除却事業</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティ核施設を整備し、活力と魅力ある地域活動を促進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・「防災啓発ワークショップ」を開催し、防災への関心を高めるとともに、地域の連携とコミュニティの強化を図る。 ・「後閑公民館」を整備し、お年寄りだけでなく多世代が活発に活動する豊かな交流拠点を創出する。 	<p>提案事業：まちづくり活動推進事業(防災啓発ワークショップ事業) 地域創造支援事業(後閑公民館建設事業)</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交付期間中の事業管理について <ul style="list-style-type: none"> ・交付期間中の円滑な事業推進のため、関連部署間との連携に努め、事業進捗管理や事業効果等について定期的な協議を行います。 ・事業の内容・成果等について、町広報誌およびホームページにより、適切な情報の公開を図ります。 ○計画途中のモニタリングについて <ul style="list-style-type: none"> ・計画期間の中間段階では、計画の適切な実施と事業効果の有効な発現を確認することを目的として、地域へのアンケートや他課を交えたミーティング等によるモニタリングを実施します。 ・モニタリング結果は、本計画に適切に反映するものとします。 ○事後評価について <ul style="list-style-type: none"> ・数値目標の達成について、地域住民の意識に関する事項については、事業前と同様のアンケートを実施します。 	

都市再生整備計画の区域

こかんまちぐみしゅうへん 後閑町組周辺地区(群馬県みなかみ町)	面積	114 ha	区域	みなかみ町後閑・月夜野の一部
------------------------------------	----	--------	----	----------------



ごかんまちぐみしゅうへん ぐんまけん まち
 後閑町組周辺地区(群馬県みなかみ町) 整備方針概要図

目標	①利根川兩岸を連結し、地域の面的な利便性向上と避難施設、公益施設へのアクセス性改善を図る。	代表的な 指標	避難施設へのアクセス時間短縮	分	31 (24年度)	→	25 (29年度)
	②災害避難拠点を改修整備し、安全と安心が実感できる地域環境を創出する。		防災環境の評価	%	37 (24年度)	→	55 (29年度)
	③コミュニティ核施設を整備し、活力と魅力ある地域活動を促進する。		地域防災への参加意欲向上	%	41 (24年度)	→	65 (29年度)

